

「iPad活用三原則」と使い方やルールの例 (原則に基づいて一人ひとりが考えよう!)

原則1 「覚えるだけの学び」を超えて、発想を広げる使い方をする。

- 授業や効率的に学習する道具として使おう
- iPadを使って表現しよう
- 自分の将来に関する情報を集めよう
- 授業をより深く学ぶために使おう
- みんなの考えをもとに、自分の考えをつくろう
- 情報をうまく扱う力を身につけよう



原則2 自分の身を守れるようになる。自己管理できるようになる。

- 危険サイトにログインしない
- 人にIDやパスワードを教えない
(推測されやすいパスワードを設定しない)
- 健康のために長時間連続で使いすぎにないようにする
- トラブルや心配事があるときは、保護者・先生・警察などに相談する
- 使わない時はiPadをしまっておく
- 教科等の「学習」で力をつけるために使う
- 登下校時には使わない
- 毎日家できちんと充電する
- 本人だけが自分のiPadを使用し、人に貸さない
- iPadにパスコードをかける



原則3 誰も傷つけないじゃましない。

- 個人情報インターネット上にアップしない
- 軽い気持ちで行うことが犯罪につながることを知ろう
(不正ログイン・中傷・なりすましなど)
- 画面の向こう側に、相手がいることを忘れない
- 人の写真を許可なく撮らない
- 音声を流すときは状況を考える

